

事務事業名	橋梁新設改良事業	整理番号	25202-060
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成13年度～平成年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 2-5 防災体制の充実 政策 2-5-2 地震対策の推進	関連政策	2-5-1 災害に強いまちづくり

事務事業の内容

目的 (何のために)	ライフラインの確保及び交通の安全の確保
対象 (誰・何を)	橋を利用する市民
手段 (どのようなやり方で)	老朽化が著しい橋梁の落下防止及び全面的な改修と橋梁の新設
成果 (どのような状態にしたいか)	ライフラインの確保とともに市民生活の安全及び利便性を高める。
事務事業の背景・住民の意向	災害時における橋梁の安全確保及び狭隘な橋の改善要望が強い。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成18年度	橋梁塗装 1橋	
平成19年度	落橋防止 3橋	
平成20年度	設計業務委託 3橋	

評価指標

--	--	--

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント
観点別評価	必要性	橋梁の計画的な点検とメンテナンスを行うことにより、支出の平準化と橋梁の延命化を図ることができる。
	有効性	
	効率性	
総合評価	B	今後の方向性 継続

改革プラン

平成21年度からの対応	471橋の内56橋は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、調査、修繕、橋の架け替えを計画的に実施します。
平成22年度以降の対応	残り415橋については、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、調査、修繕、橋の架け替えを計画的に実施します。
改革により予想される成果	今後、急速な老朽化橋梁の増大を目前に、財政状況が厳しい中、さらに効率的で合理的な維持管理を実施していかなければなりません。そのために、既存ストックの有効活用による長寿命化に取り組む必要があります。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	<ul style="list-style-type: none"> 事業箇所を十分精査し、当面は防災の避難路の活用等により、できる限りの縮減を図る。 防衛9条交付金の活用も含めて、他の補助事業メニューとの関連を検討する。
仕分け理由	
平成21年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成22年度から事業を実施していくが、当面の事業費の縮減や、事業の延伸を検討する。	